

各 位

認定 NPO 法人 環境リレーションズ研究所

大切な人へ、そして大切な地球へ。



森づくりを通して、ウルトラマンと一緒に美しい地球を守ろう！
「ウルトラマンの森」本日より、苗木の里親募集開始

認定 NPO 法人環境リレーションズ研究所（以下「環境リレーションズ研究所」、東京都千代田区、理事長：鈴木敦子）では、多くの人々の地球環境保全活動への貢献意欲と森林再生とを結びつける仕組みとして 7 年間継続運営してきた「Present Tree」のスキームを使い、2011 年にプロジェクトを開始した「Present Tree in 飛騨高山」（岐阜県高山市清見町）の植栽地の一面に「ウルトラマンの森」を造成、本日より苗木の里親を募集します。

「ウルトラマンの森」は岐阜県高山市清見町巣野俣に位置する「Present Tree in 飛騨高山」（約 45ha）の一面にある約 1ha のエリアです。もともとの地元植生であるミズナラ、ケヤキ、ブナ、ヤマザクラ、ヤマグリといった落葉広葉樹を植え、2,000 本分につき一般市民から一口¥4,500 の寄附金を受入れ 10 年間の保育管理を実施します。現地には、地元産間伐材を使用した「ウルトラマンの森」の看板が設置されます。

寄附者には「ウルトラマンの森」特別仕様の「植林証明書」と「リーフレット」が贈られ、苗木一本一本にも植林証明書に記載されている「樹の管理番号」と同じ番号の特別仕様のナンバープレートが付けられるので、「世界で一本の自分の樹」がひも付けされるしくみになっています。



(看板ならびにリーフレットのデザイン)



(植林証明書のデザイン)

「ウルトラマンの森」では継続的に植樹・育樹イベントを、株式会社円谷プロダクション（以下「円谷プロ」、東京都渋谷区、代表取締役社長：大岡新一）との協働で実施。来る **11月18日（日）**には高山市の協力の下で、キックオフとなる第 1 回目の植樹イベントが開催されます。

当日は、高山市民約 50 名の参加と、苗木の里親を中心に首都圏・名古屋圏から、1泊2日のバスツアーでそれぞれ約 40 名計 80 名ほどの参加が見込まれ、ウルトラマンと共に森づくり体験を通して、地球環境保全と地域活性化について学びます。

Present Tree の目的は、森林再生プロジェクトにとどまらず、植栽地と都市との交流による地域振興です。日本の多くの地域でみられるように、森林面積の多い高山市でも、国産材価格の低下などによる林業の衰退から、森林の間伐不足や伐採跡地が少なくありません。そこで、「ウルトラマンの森」では伐採跡地に落葉広葉樹を植えて、森林本来のはたらきを再生させ、人々に恵みの水をもたらす森を育てていくと同時に、再び人々が集まり・交流する森づくりを行うことで地域の活性化を目指し、森と人、延いては地球と人との理想的な共生を実現していきます。

■ウルトラマンとのコラボレーションの背景

環境リレーションズ研究所は、Present Tree の基本ミッションである「一般市民のエコアクションへの入口提供」をこれまで以上に波及させるためには、より情報発信力の強いコラボレーション先が必要だと考えてきました。

また、「ウルトラマン」は児童のみならず、父母祖父母を含めた複数世代の人々に絶大な認知度を誇り、Present Tree を通して環境問題の普及啓発が活発化することを期待されます。

■バスツアーと植樹イベントの概要

① バスツアー 11月17日(土)～18日(日) 1泊2日

株式会社 JTB 中部 法人営業名古屋支社に、企画・募集を依頼しています。

東京発、名古屋発それぞれ親子 20 組の参加者を募集し、初日は高山市内の観光、ウルトラマンが出演するパフォーマンスが見られる夕食交流会・撮影会を実施、2 日目は地元高山市からの参加者とともに植樹イベントに参加します。

参加者募集は、環境リレーションズ研究所HP他、円谷プロ公式ウェブサイト等を通じて行います。

円谷プロ公式ウェブサイト：<http://m-78.jp/>

② 植樹イベント 11月18日(日)

「Present Tree in 飛騨高山」の協定先である高山市の協力を得、高山市長参加のもと、公募する市民約 50 名と、里親を中心としたツアー参加者とが、合同で約 1,000 本の広葉樹を植樹します。開会式典は高山市清見町「すのまたふるさと学校」で行い、ウルトラマンが登場し参加者と触れ合います。

昼食は、地元婦人会による地元食材を使った炊き出し等がふるまわれ、地元の人々との交流をメインとして市のPRにつながるメニューになっています。

■Present Tree とは

認定NPO法人環境リレーションズ研究所が進める市民参加型の森林再生プロジェクトです。「人生の記念日に樹を植えよう！」を合い言葉に、国内外にある荒廃林や植栽放棄地、台風や火災の被災林等に、個人の方が記念樹を植えることで森林再生に繋げていくというプロジェクト。2005年1月のスタート以来、現在までに約200万人もの方々から支援いただき、国内外20カ所超の森林再生に寄与しています。

Present Treeの「Present」には、自分や大切な人へのプレゼントという意味と共に、地球の未来へのプレゼントという意味も込められています。

その特徴は、植えたらその後も10年以上面倒を見ること。その間、はじめは「私の樹」だけに愛着をもっていたのが、森全体への興味へと拡がり、森を訪れるようになり、足を運べば周辺地域やそこにすむ人々との交流が始まります。これこそが Present Tree の真の目的です。

プレゼントツリー公式ウェブサイト：<http://www.presenttree.jp/>

Present Tree × ウルトラマンの森：<http://www.presenttree.jp/lineup/lineup18.html>

■Present Tree in 飛騨高山とは

2011年「Present Tree in 飛騨高山」がスタートしました。このプロジェクトでは、「飛騨高山に、水が育つ森を」をテーマに水源涵養林の育成を目的として、全国から Present Tree への参加を募集しています。



【高山市での協定式の様子】2011年2月28日に無事協定式が終了しました。



写真向かって、

左:小林三之助商店代表取締役 三輪様(当時)、中央左:認定NPO法人環境リレーションズ研究所理事長 鈴木敦子
中央右:高山市長 國島様、右:岐阜県林政部部长 志村様

※本件については、本日下記の記者クラブに資料を配布させていただいております。

- ・環境省記者クラブ
- ・林政記者クラブ

<参考資料>

■認定NPO法人環境リレーションズ研究所 概要

1. 商号 : 認定特定非営利活動法人環境リレーションズ研究所
2. 理事長 : 鈴木敦子
3. 住所 : 東京都千代田区神田錦町1-27-4 大手町I・Tビル8階
4. 設立 : 平成11年10月～任意団体としてスタート。平成15年9月、内閣府より認証を受け、また平成22年4月より国税庁の認定を取得※。全国展開を前提とした特定非営利活動法人として活動している。

※認定NPO法人とは

運営組織・事業活動が適正で公益の増進に寄与する団体として一定の要件を満たし、国税長官の認定を受けたNPO法人。認定NPO法人への寄附者は税制上の優遇措置を受けることができます。

1. 個人が支出した認定NPO法人への寄附金に対する特別措置
個人が認定NPO法人に対し「特定非営利活動に係る事業に関する寄附」をした場合、特定寄附金とみなされ、寄附金控除(所得控除)又は税額控除のいずれかの控除を選択適用できます。
2. 法人が支出した認定NPO法人への寄附金に対する特例措置
法人が認定NPO法人に対し「特定非営利活動に係る事業に関する寄附」をした場合、一般寄附金の損金算入限度額とは別に、特別損金算入限度額が設けられています。一般寄附金と別枠分の寄附金が損金算入でき、この分は法人税に課税されません。

《お問い合わせ先》

認定NPO法人環境リレーションズ研究所 (平沢・皆方)
TEL : 03-5283-8143 FAX : 03-3296-8656

株式会社円谷プロダクション 広報宣伝室
E-mail : public_relations-gr@tsuburaya-prod.co.jp

株式会社JTB 中部 法人営業名古屋支店 (田川・阿部)
TEL : 052-211-6703

